



NO.54

2017.12

発行人 清野 光彦

発行所 事務局

編集 企画総務委員会（委員長 竹田 匡）

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2.7 4階

TEL.011-213-1313/FAX.011-213-1314

UD ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づき、
FONT より多くの人に見やすく読みまちがえにくい
デザインの文字を採用しています。

かわら版

目次

| | |
|---------------------------|-----|
| 1 新委員会・部会 | 2～4 |
| 2 ベテラン社会福祉士の視点 | 5～6 |
| 3 新人社会福祉士の紹介／ 理事会開催される | 7 |
| 4 地区支部からのお知らせ | 8～9 |
| 5 クロスワード／ 事務局からのお知らせ | 10 |

=事務局から=

★ 会費にかかる預金口座振替依頼書の
提出について (お願い) ★

「HDC宛ての預金口座振替依頼書」の提出を
お願いしております。まだ提出されてない方は、
至急ご協力をお願い致します。書類が見当たら
ない方は事務局迄ご連絡をお願い致します。

— 会員の動向 (10月31日現在) —

○総会員数 1,847名(男性978名 女性869名)

○入会率 19.12%

○新入会員数 (転入含) 126名 (累計)

○退会員数 (転出含) 27名 (累計)

【委員会】【部会】構成

(1) 常設委員会

2017. 7.22 ~ 2019. 7 理事会

| ①企画総務委員会 | | |
|----------|-------|-------|
| 副会長 | 神内秀之介 | |
| 理事 | 竹田 匡 | 釧 根 |
| 理事 | 櫻井 宏樹 | 日 胆 |
| 理事 | 佐藤 雅幸 | 道 北 |
| 理事 | 綱淵 美穂 | 道 北 |
| 委員長 | 竹田 匡 | 釧 根 |
| 委員 | 小野寺 敦 | 道 央 |
| 委員 | 木田 祥平 | 道 南 |
| 委員 | 石井 康弘 | 十 勝 |
| 委員 | 佐々木祐也 | オホーツク |

| ②生涯研修委員会 | | |
|----------|-------|-------|
| 会 長 | 清野 光彦 | |
| 理事 | 渡邊 建司 | (基礎Ⅰ) |
| 理事 | 三谷 真理 | (基礎Ⅱ) |
| 理事 | 田巻 憲史 | (基礎Ⅲ) |
| 理事 | 村上 敦哉 | (基礎Ⅲ) |
| 委員長 | 渡邊 建司 | 道 北 |
| 委員 | 近藤 尚也 | 道 央 |
| 委員 | 齊藤 麻衣 | 道 南 |
| 委員 | 岸 美佳 | 道 北 |
| 委員 | 有澤 克英 | 日 胆 |
| 委員 | 寺本 圭佑 | 十 勝 |
| 委員 | 米澤結実子 | 釧 根 |
| 委員 | 大谷 綾 | オホーツク |

| ③ぱあとなあ北海道運営委員会 | | |
|----------------|-------|-------|
| 副会長 | 高橋 通江 | |
| 理事 | 平田 淳 | 道 北 |
| 理事 | 海老 厚志 | 道 央 |
| 委員長 | 海老 厚志 | 道 央 |
| 委員 | 長井 卷子 | 道 央 |
| 委員 | 古山 明美 | 道 央 |
| 委員 | 目黒紀美代 | 道 央 |
| 委員 | 岩佐 宏希 | 道 南 |
| 委員 | 川田 哲也 | 道 北 |
| 委員 | 曾我真由美 | 日 胆 |
| 委員 | 清野 祥子 | 十 勝 |
| 委員 | 多田摩由美 | 釧 根 |
| 委員 | 尾崎 仁美 | オホーツク |

| ④現場実習指導者研修委員会 | | |
|---------------|-------|-----|
| 副会長 | 山崎加代子 | |
| 理事 | 芳賀 憂子 | 道 央 |
| 委員長 | 芳賀 憂子 | 道 央 |
| 委員 | 越石 全 | 道 央 |
| 委員 | 丸山 正三 | 道 央 |
| 委員 | 久慈 隆之 | 道 央 |
| 委員 | 長濱 章雄 | 道 北 |
| 委員 | 勝見 祥 | 日 胆 |
| 委員 | 鈴木 舞 | 道 央 |
| 委員 | 北村 満広 | 道 北 |
| 委員 | 太田 文弘 | 十 勝 |
| 委員 | 齊藤 久恵 | 十 勝 |



| ⑤ケアマネジメント委員会 | | |
|--------------|-------|-----|
| 副会長 | 山崎加代子 | |
| 理事 | 菅 しおり | 道 央 |
| 委員長 | 菅 しおり | 道 央 |

| ⑥地域包括支援センター支援委員会 | | |
|------------------|-------|-------|
| 副会長 | 高橋 通江 | |
| 理事 | 高桑 純一 | オホーツク |
| 委員長 | 高桑 純一 | オホーツク |
| 委員 | 島崎 顕生 | 道 央 |
| 委員 | 佐々木康寛 | 道 南 |
| 委員 | 今井 敦 | 道 北 |
| 委員 | 浅野 豊 | 日 胆 |
| 委員 | 川向 優子 | 十 勝 |
| 委員 | 伊藤 靖代 | 釧 根 |
| 委員 | 武田 学 | オホーツク |

| ⑦障がい者等地域生活支援委員会 | | |
|-----------------|-------|-----|
| 副会長 | 神内秀之介 | |
| 理事 | 佐藤 雅幸 | 道 北 |
| 委員長 | 佐藤 雅幸 | 道 北 |
| 委員 | 横山 史紀 | 道 央 |
| 委員 | 三好由美子 | 道 央 |
| 委員 | 藤根美紀子 | 道 央 |
| 委員 | 西中 裕一 | 道 北 |
| 委員 | 橋本 政人 | 日 胆 |

| ⑧生活困難者支援委員会 | | |
|-------------|-------|-------|
| 会 長 | 清野 光彦 | |
| 理 事 | 平田 淳 | 道 北 |
| 委員長 | 平田 淳 | 道 北 |
| 委 員 | 里村としこ | 道 央 |
| 委 員 | 奥山英梨香 | 道 南 |
| 委 員 | 来田 寛 | 道 北 |
| 委 員 | 奈良 禎久 | 日 胆 |
| 委 員 | 島田 朋奈 | 十 勝 |
| 委 員 | 澤田 憲一 | 釧 根 |
| 委 員 | 宮下 紀江 | オホーツク |

| ⑨災害対策委員会 | | |
|----------|-------|-------|
| 副会長 | 山崎加代子 | |
| 理 事 | 山口 潤 | 十 勝 |
| 理 事 | 芳賀 憂子 | 道 央 |
| 委員長 | 山口 潤 | 十 勝 |
| 委 員 | 山崎 真裕 | 道 央 |
| 委 員 | 渋谷 昌広 | 道 南 |
| 委 員 | 福島 将恭 | 道 北 |
| 委 員 | 石黒 建一 | 日 胆 |
| 委 員 | 佐々木政人 | 十 勝 |
| 委 員 | 高橋 功成 | 釧 根 |
| 委 員 | 鈴木 卓也 | オホーツク |



| ⑩司法分野との連携特別委員会 | | |
|----------------|-------|-------|
| 副会長 | 高橋 通江 | |
| 理事 | 寺尾 賢一 | 道 南 |
| 委員長 | 寺尾 賢一 | 道 南 |
| 委員 | 橋爪 拓士 | 道 央 |
| 委員 | 小林 沙貴 | 道 南 |
| 委員 | 柴田 淳 | 道 北 |
| 委員 | 加藤 侑大 | 日 胆 |
| 委員 | 長村 麻子 | 十 勝 |
| 委員 | 松野 裕樹 | 釧 根 |
| 委員 | 佐々木啓太 | オホーツク |

| ⑪子ども未来部会 | | |
|----------|-------|-------|
| 副会長 | 神内秀之介 | |
| 部会長 | 櫻井 宏樹 | 日 胆 |
| 委員 | 池田 真紀 | 道 央 |
| 委員 | 齋藤 麻衣 | 道 南 |
| 委員 | 棟方 康明 | 道 北 |
| 委員 | 鹿川 靖子 | 十 勝 |
| 委員 | 石川美佐絵 | 釧 根 |
| 委員 | 藤井 康成 | オホーツク |
| 委員 | 栗本 信明 | 道 央 |

(2) 事業部会

| 福祉サービス第三者評価事業推進機構 | | |
|-------------------|-------|-----|
| 副会長 | 神内秀之介 | |
| 理事 | 原 貴弘 | 道 央 |

(3) 倫理委員会委員
(2017. 6.10 ~ 2019. 6 定時総会)

| 倫理委員会 | | |
|-------|-------|---------------|
| 会 員 | 杉野 全由 | 十 勝 |
| 会 員 | 林 和典 | 道 北 |
| 会 員 | 尾崎 誠 | 道 央 |
| 会員外 | 末長 宏章 | 札幌弁護士会 |
| 会員外 | 小嶋 健二 | 精神保健 福祉士協会 |

(4) 業務監査委員会委員
(2016. 9.23 ~ 2018. 3.31)

| ぱあとなあ業務監査委員会 | | |
|--------------|-------|---------------|
| 理 事 | 原 貴弘 | 道 央 |
| 理 事 | 村上 敦哉 | 道 央 |
| 会員外 | 関口 和矢 | 札幌弁護士会 |
| 会員外 | 木村 彰宏 | 精神保健 福祉士協会 |
| 会員外 | 高川 絵里 | リーガル サポート |

各委員会では新たな委員構成により担当業務、研修等の協議を進めながら会員の活動、道民福祉の向上に寄与すべく取り組みをしています。



【ベテラン社会福祉士の視点】(道央)

「お前いいよ、がんばれよ」と励ましているか
恵庭市社会福祉協議会

海老厚志

就職3年目の平成8年、社会福祉士を取得した。当時合格者は新聞に掲載される良き時代で、お世話になっていた市民会館系の先輩が喜んでくれた事が忘れられない。他の職場なのに何かにつけ「お前いいよ、がんばれよ」と言ってくれた。仕事の仕方も分からず何かと不安な新人時代、この言葉は嬉しかった。

「社会福祉士会に入らなくてもいいんじゃない」「会費高いし」という世間との格闘もこのときから始まった。私は「理論と実践」という言葉が好きだ。実践は日々しているが、理論があるなら教えてほしいというのが本音だ。それで、社会福祉士会に入会して勉強しなそうと考えた。会費のことも入会しないで愚痴るのもだめだと。昔、白澤先生が職場に3年も勤めないうで何わかったふう言うか！と言ってたなと。それと同じだと。今は「会費はひと月にしたら1,000円くらい。これで給料もらう人は入らないと。」と周りに伝えている。

基礎研修Ⅰのチラシの絵が好きだ。「踏み出すこの一歩」。あれを見て「俺もやるかな」と本気で思った。基礎研修を乗り越えるには様々な生活上のイベントと戦う。欠席は尾を引く職場の一大行事、子の運動会などなど。どうしてこの日程なんだと、他地区も日程が合わず欠席レポートで回避

もできず。正直恨みたくなる日もあった。なんとか5年かかって今年で基礎Ⅲが終わる。大変だったが会の友達が増え、受講して良かったと思っている。

基礎Ⅰに参加した頃、石狩ブロックの協力員となった。千歳の菊地さんに誘ってもらって。それで会の動きがよりわかるようになり、私たちが恵庭でやっている会と同じだと感じた。ただ人数が多く会員の顔がわからないことが大きな違い。ここを何とかしたい。

去年から道央地区支部の幹事となり、石狩から道央へとエリアが広がった。札幌に月1回集まる幹事会、会を良いものにしようと皆さん協力している。北海道は広く、道央も広い。滝川からも来てくれ感謝している。

ベテランとなり、職場では何かとダメ出しする役も回ってきたが、果たして自分は自分自身が支えてもらったように「お前いいよ、がんばれよ」と励ましているか。後進を育てる思いは同じでも、伝わり方が全く違う。特にこの会は仕事ではない会員同士の研鑽の場だ。ベテランとして、会員の一人として、人を支え、一緒に成長する、そんな人になりたい。



【ベテラン社会福祉士の視点】（釧根）

「一人ひとりの人権を守り続けること・・・」

社会福祉法人 釧路愛育協会

障がい者支援施設 鶴が丘学園

和田 敏 幸

福祉大では少年非行問題に取り組んだ。非行少年は社会的な被害者だと思っていたからだ。教護院（現在の児童自立支援施設）の小舎性に憧れた。しかし、S48年卒業後は知的障がい児施設に勤務した。その後45年有余、同法人の障がい児・者支援施設、多機能型事業所、保育園、養護老人ホームを経て、現在の鶴が丘学園に戻る形で仕事を続けている。

37歳の時に総務課に異動となり、現場を離れたことがきっかけで社会福祉士資格を目指し第4回試験で取得した。

当時、釧根地区で初の合格ということもあり、その4年後、同志の合格を待って1996年6月6日釧根社会福祉士会を立ち上げた。まだ会員数10名の立ち上げであったが、その同志とは会長と事務局長のコンビで11年有余の間、会の発展向上に取り組んできた。

その間、道の社会福祉士会設立にも参画させていただき最高のネットワークを手にすることができた。以来、ネットワークは今も私にとってはかけがえのない宝物となっていて、心から感謝している。

私の社会福祉士としての視点は、利用者さんにとって最善の利益は何か？どんな課題や難問にぶち当たっても、常に利用者を

最優先して判断すること。失敗や挫折も多かったがそのことにこだわり続け日々実践している。何故ならそれが利用者さんの人権を守ることに繋がるからである。

現在、職場で大切にしていることは、「レジデンシャルソーシャルワーカー」として、福祉施設という固有の生活形態に応じた総合的なソーシャルワークが必要とされるという観点から、利用者さんの自立支援を目指す中、日常生活の支援、人間関係の調整、社会参加の促進、家族支援機能等、そして、強度行動障がいの利用者さんをまるごと受け止めていく役割と使命を全職員に発信し続けている。

今まさに国が推し進めようとしている「地域共生社会」、高齢化と共に誰もが認知症になりえ、うつなどの精神疾患が増加し、がんなどを治療しながら仕事を継続することが普通となり、発達障がいの子どもも増えている。

地域の困り事を誰もが我が事として捉えていかなければならない。24時間、365日の切れ目のない支援施設の強みを、地域の重要な資源として活用していくことを考えている。

最後に、余談としてリーダーの条件（7つのH）を書き留め結びとしたい。① Humanity（人間性） ② Honest（誠実） ③ Hospitality（思いやり・親切） ④ Hard（一生懸命・情熱） ⑤ Humor（ユーモア） ⑥ Healthy（安心）、そして、最後のHは『魅力・華・色気？』だそうである。

【新人社会福祉士紹介】(道央地区支部)

NPO 法人おたる AtoZ 塩梅屋(あんばいや)

末 武 徹 也 (45 歳)

日本福祉大学福祉経営学部(通信教育)で受験資格を取得し、2017年に社会福祉士を取得しました。私はこれまで、認知症対応型グループホームや児童デイサービスでの勤務を通して、介護や療育の現場を経験してきました。社会福祉士の資格取得を機に、現在は就労継続支援B型と生活介護サービスを提供する事業所「塩梅屋」で生活支援員として働いています。塩梅屋では、知的・発達・精神障害を抱えた利用者と一緒に仁木町において農作業を行い、ブルーベリーやサクランボ、プルーンなどの果物、花豆や小豆、大豆などの豆類、ズッキーニやオクラ、カボチャなどの野菜の栽培、収穫、委託販売をしています。いずれも無農薬です。その他に本格ドリップコーヒー等を提供する喫茶店の運営、受託先の清掃作業や除雪作業、運輸会社から委託された使用済みの100kg用の米袋畳みの作業も行っています。今後は、誰もが安全、安心、安定的に暮らすことができる地域共生社会の実現を目指して、小樽市の地域福祉の増進に働きかけることができる社会福祉士になりたいです。よろしくお願い致します。

【理事会開催される】

10月28日、今年度第3回の理事会が開催されました。協議事項として補正予算、基礎研修に係る講師養成修了者の会議開催、協定締結に関する規程(案)、メール配信等管理運用要綱(案)、成年後見制度利用促進法に関する取り組みについて、上程され審議を行いました。また、報告事項として、会長の職務執行状況報告、会員数の動向について、研修会等の後援について、2018年度事業計画及び収支予算案の提出について報告がありました。続いて、7地区支部からの活動報告、12委員会から研修等の実施状況や審議事項など委員会での取り組み内容が報告されております。

理事会終了後、同日開催で、2017年度地区支部長・事務局長会議が行われました。協議事項としては、理事会に決定に基づく協定内規に関することを、報告事項として、①2018年度予算編成日程について、②2016年度繰越金に関わる3ヶ年特別配分金事業の今年度進捗状況について、③情報交換等審議を行っていただいております。

全日程終了後は、理事、支部長、事務局長の参加により交流会を実施、道事務局員も含め意見、情報交換を行いました。

次回第4会理事会は、年明け1月に行われる予定で、2018年度事業計画及び収支予算等が審議されます。



【各地区支部からのお知らせ】

【道央地区支部】

「司法の研修」

3月10日（土）10時～12時

講話「刑事弁護（入口支援）」と実践報告。

講師は、三上直子弁護士など。

「会員サロン」

2月28日（水）18時30分～20時30分
テーマは「こども・若者支援」。

講師は、札幌市若者支援総合センター館長。会場は、札幌市社会福祉総合センターにて開催いたします。詳細は、同封の案内チラシ及び道央地区支部のホームページでご確認いただき、お申込ください。皆様のご参加をお待ちしております。

【道北地区支部】

・道北地区支部秋季セミナー実施

さる11月25日（土）、羽幌町老人福祉センターにおいて、道北地区支部の秋季セミナーを実施しました。市民公開セミナーにおいては、留萌の二村沙絵弁護士に講師としてお越しいただき、権利擁護をテーマにしてグループワークと講演を行い、羽幌町民をあわせ約40名の方の参加がありました。市民公開セミナーの後には会員向けセミナーと支部全体会を実施しました。

・高齢者・障がい者の権利擁護セミナー

例年、弁護士会・リーガル・法テラスとの共催により実施している本セミナーですが、今年度も2018年2月17日（土）に、旭川市民文化会館にて実施する予定です。地区支部会員の皆様には、後日別途ご案内

をお送りしますので、ぜひご参加ください。

【道南地区支部】

今年度の事業も後半に入り、特別事業の実施が始まりました。道南地区支部ではその事業の第一弾として「スクールソーシャルワーカー」についての研修会を、日本社会事業大学の内田宏明先生をお招きし一般市民にも公開の形で開催しました。当日は、高校生や大学生、教員など一般市民も含め80名近い参加者を頂きました。市民にとっても関心の高い分野を共に考える良い機会となりました。第二弾は、静岡県で独立型社会福祉士として、子供へのソーシャルワークを中心に活動している川口正義さんをお招きし、三団体研修（当会・MSW協会・PSW協会）で熱く語っていただく予定です。ここでは、私たちのSWとしてのあるべき姿を確認する場にしたいと思います。

【日胆地区支部】

『2018年度社会福祉セミナー開催案内』

「ソーシャルワーク実践研究会 in 苫小牧」との共催事業

●目的：厚労省が進める地域共生社会の実現に向けて、ソーシャルワーカーに求められる専門性と地域、関係機関との連携のあり方について、実践事例を基に深める。

●日時：平成30年3月11日（日）

13時30分～16時30分

●会場：苫小牧市民会館3階小ホール

●内容1：講演「専門職にとってのソーシャルワーク実践とは」講師 大橋謙策氏（日本社会事業大学名誉教授）

●内容2：シンポジウム「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践」シンポジスト（調整中）

●入場料：無料

●定員 150 名

【十勝地区支部】

11月25日に社会福祉セミナー、12月2日に権利擁護セミナーを開催しました。社会福祉セミナーでは「楽しく暮らせるまちのデザイン」と題し、住民参加による総合計画の策定、地域のブランディング、集落診断・支援等を行っている“Studio-L”西上ありさ氏の講演と地域での実践報告がありました。権利擁護セミナーでは「ハンセン病の施策の歴史から人権を学ぶ」と題し国立ハンセン病資料館の儀同政一氏からの講演と、併せて清野会長から取り組み報告を頂きました。また、12月9日に支部意見交換会を行い、基礎研修Ⅰ中間課題支援として各領域の実践者から報告を頂くと共に、先日行った支部会員アンケート結果を踏まえて次年度の事業計画、予算案を説明し意見交換を行いました。

【オホーツク地区支部】

10月22日に児童相談所職員を講師に招き「児童相談・支援の現状について」、11月19日には「女満別ドリーム苑視察研修」の内容で会員学習会を開催しました。10月の学習会では、オホーツク管内の児童支援の現状や課題、平成28年度の法改正などについて、1月は大空町の特別養護老人ホームの取組みについて学習しました。ま

た、9月2日には毎年恒例となっているオホーツク・十勝・釧根地区支部合同研修会（道東社会福祉士会のつどい）が釧路市阿寒町で開催され、オホーツクからは14名の会員・実習生が参加しています。今後は、12月9日に高齢者虐待対応ソーシャルワーク研修会、12月15日に権利擁護セミナーを開催予定です。

【釧根地区支部】

今回のかわら版「ベテラン社会福祉士の視点」の依頼にあたり、釧根地区支部初期の基礎を築いた和田さん（初代支部長）に、久しぶりに連絡をとらせていただきました。

そのような機会を与えてもらった「かわら版」に感謝しています。

今年度は、支部の会員も150名を越えさらに充実した活動が求められていると思っています。そのため11月には「支部運営についての意見募集」のアンケートを開始しています。学習会の企画担当会員も毎回頭を悩ませながら学習会を企画し、11月30日で107回目となります。

会員の皆さんがどのようなことを学びたいのか？を知りたいと思っていますので、積極的なご意見、アイデアをお寄せください。



【クロスワード】 これだけ活躍の場があります 社会福祉士

北海道 179 市町村名で、パズルを作りました。

A ~ G に入るひらがな 7 文字をつなげると、『多様化・複雑化するニーズへの対応や、全ての住民が暮らしや生きがいをつくり高め合うことができる社会』を指す用語になります。



A○○○○



～アイヌ語で「通路のある川」という意味が由来になっており、特産のトマトジュースや、ブロッコリーや米粉などを原材料にした緑のパスタが有名。

○○○B

～日本でも有数の透明度をもつカルデラ湖である倶多楽湖があり、牛肉やタラコはブランドとして広く知られている。



C○○○



～日本有数の大規模畑作農業地帯が広がり、1975 年には日本初のじゃがいも焼酎が誕生した。

D○○○○

～羊蹄山のふもとに位置する人口約 3,000 人の町。「日本で最も美しい村」連合に加入し、ふきだし湧水は多くの人に親しまれている。



○E○

～面積の 65% が森林に囲まれた町。でんすけすいかや夏季のバラ産地であり、その他ボランティアの手により作られる鍾乳洞熟成酒などが有名。



F○○



～平成 17 年 9 月に 3 町が合併し現在に至る。狩場連山と日本海に囲まれ、水産業・農業ともに盛んな町。

○○○G

～人口約 1 万 5 千人に対し、約 10 万頭の乳牛がいる酪農王国。アイヌ語で「川の折れ曲がっているところ」という意味が語源とされている。



【前号の答え】 = 「社会モデル」

(しらぬか、くっちゃん、なかさつない、とまこまい、るもい、はこだで、えんがる)

※ 2014 年、国内法整備を経て「障害者権利条約」批准。世界で 141 番目の締結国に。



【事務局からのお知らせ】

☆自宅・勤務先の変更届について☆

自宅・勤務先が変更となった方はいらっしゃいませんか？

あて先不明で郵便物が事務局へ戻ってくる事が多くなっております。

変更がある場合は、速やかに事務局までお知らせください。

本会ホームページからも変更手続きができますのでご利用ください。

